

令和5年5月25日

報道関係者 各位

エコ活動を地域貢献へと繋げる

青山商事株式会社様から島原市へ寄贈される防災リサイクル毛布の受納式について

標記のことについて、下記のとおりお知らせします。

記

1. と き 6月2日（金） 11時00分～
2. と ころ 市役所本庁舎 3階会議室（3A・3B・災害対策室）
3. 内 容 青山商事株式会社（本社：広島県福山市）様から島原市へ寄贈されるリサイクル毛布（防災毛布）の受納式を行います。
4. 寄贈数 100枚（1枚あたり 200cm×140cm）

寄贈される経緯

青山商事株式会社（本社：広島県福山市）様は、エコ活動の一環として、お客様から下取りしたスーツの一部を防災毛布へリサイクルを行っておられます。作製された毛布は、過去に災害を経験し、災害発生時に物資が届きにくい離島や遠隔地にある自治体を基準に、全国の自治体へ寄贈を行っておられます。

今回、島原市は「災害に強いまちづくり」を推進する取り組みに賛同いただき、長崎県内で初めて寄贈いただくことになりました。

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市



担当：島原市市民安全課地域防災班 担当：迫田
電話：0957-62-8022
E-mail：anzen@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

2023 年 5 月 25 日

長崎県内初、下取りのスーツをリサイクルした「防災毛布」を島原市へ寄贈 雲仙普賢岳の噴火災害から 32 年、6 月 2 日に贈呈式を開催 ～お客様と取組むエコ活動を地域貢献へと繋げる～

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：青山^{おさむ}理）は、長崎県島原市へ「防災毛布（災害支援用リサイクル毛布）」100 枚を寄贈いたします。これに伴い、6 月 2 日に島原市役所にて贈呈式を開催します。当社は 2018 年より、お客様から下取りしたスーツの一部をリサイクルした防災毛布を作製しています。これまでに国内の計 5 自治体へ寄贈していますが、今回は長崎県初の取組みとして島原市へ寄贈いたします。

【贈呈式 概要】

日 時：2023 年 6 月 2 日（金）11:00～

場 所：島原市役所 3 階 会議室
（長崎県島原市上の町 537 番地）

主な出席者：島原市長 古川 隆三郎様

取締役 兼 常務執行役員 山根 康一

寄 贈：防災毛布（災害支援用リサイクル毛布）100 枚
1 枚あたりのサイズ 200 cm×140 cm



お客様から下取り → リサイクル → 自治体へ防災毛布を寄贈

島原市は、半島という地域特性があるとともに、1991 年 5 月から数年に渡り「雲仙普賢岳の噴火災害」を経験されており、災害対策を強化されています。特に 6 月 3 日は、大火砕流が発生し被害が大きかったことから「いのりの日」として毎年慰霊の黙祷を行い、市民の防災意識向上を図り啓発をされています。また当社では、①過去に大規模な自然災害を経験した地域であること ②災害発生時に物資が届きにくい離島や遠隔地であること ③当社店舗を営業している地域であること の 3 つを基準に、防災毛布寄贈の取組みを行っています。そうした背景からこの度、島原市へ寄贈することになりました。

この防災毛布は、店頭で回収したスーツの一部をリサイクルして作られています。当社では、お客様と取組むエコ活動の一環として、年間を通して衣料品を商品割引券と引き換える『下取りサービス』を「洋服の青山」「ザ・スーツカンパニー」などで実施しています。回収した衣料品は、主に海外へのリユースや、車の断熱材・荷物の緩衝剤などにリサイクルされており、2018 年からは近年の全国的な自然災害の激甚化・頻発化を鑑みて防災毛布へのリサイクルも開始しました。防災毛布は 2019 年より順次、石川県輪島市・新潟県佐渡市・鹿児島県奄美市・龍郷町（奄美大島）・熊本県天草市の計 5 自治体に寄贈しております。

寄贈の取組み：<https://bit.ly/30mIjdl> 下取り品の資源循環：<https://bit.ly/432zv12>



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

《本件に関するお問い合わせ先》

青山商事株式会社 東京オフィス 広報部 岩永、長谷部
〒110-0005 東京都台東区上野 4-5-10 TSC TOWER 7F
TEL:03 (5846) 5656 MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp

スーツのリサイクル工程（防災毛布）



・「洋服の青山」「ザ・スーツカンパニー」で回収されたスーツの一部は、工場で裁断され、ガーネット反毛織で綿状に加工されます。



- ・綿状になった原料と再生ポリエステルを混ぜ合わせ、糸の元が作られます。
- ・専用機械で撚りをかけて糸に仕上げます。



- ・この糸を紡織機で織り上げて反物にし、表面を起毛させ毛先を揃えます。
- ・反物の端にパイピング仕上げを施して毛布が完成します。
- ・出来上がった毛布は真空パック詰めし、段ボールに梱包して弊社の商品センターにて保管しています。

回収量に応じて森林保全団体「more trees」に寄付



2021 年度より、衣料品の回収量に応じて森林保全団体「more trees(モア・トゥリーズ)」に1キロあたり2.5円を寄付する取り組み（年間上限100万円）を新たにスタートしました。これまでも「more trees」へは、2015年からスーツ売上金の一部を寄付しています。

＜衣料品回収量に応じた寄付の実績＞

2021 年度(2021 年 4 月～2022 年 3 月)：回収量 約 340 トン／寄付額 850,322 円

2022 年度(2022 年 4 月～2023 年 3 月)：回収量 約 349 トン／寄付額 874,930 円

詳細：<https://bit.ly/3MkhUux>

■一般社団法人 more trees について

一般社団法人 more trees(モア・トゥリーズ)は、音楽家・坂本龍一氏が創立した森林保全団体です。加速する森林破壊と地球温暖化の危機的状況に行動を起こすため、坂本龍一氏らが発起人となって、100名以上の賛同人とともに2007年に設立されました。

地域との協働で森林保全を行う「more trees の森」の展開、国産材を活用した商品やサービスの企画・開発、セミナーやイベントを通じた森の情報や魅力の発信など、「都市と森をつなぐ」をキーワードに「森と人がずっとともに生きる社会」を目指した、さまざまな取り組みを行っています。